

令和5年度

栄小学校 1年生

地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクールの充実

# 西東京ふるさと探究学習

単元名： きせつとなかよし あき  
(活動名)

ねらい： 秋は、木の実や落ち葉など、魅力的な自然物が多く見られるため、豊かな秋の自然を存分に体感させたい。また、自然の中を五感を使って活動することで、言葉や動作で表現することや、自然物を使って遊ぶことの楽しさに気付かせたい。さらに、幼児等と交流することで、相手に合わせて適切に関わり、自分自身の言葉や行動を見つめ直し、活動していく実践的な力も育てたいと思い、この単元を設定した。

【10月31日】

生活科見学で栗原公園に出かけました。どんぐりや松ぼっくり、様々な色の落ち葉など、たくさんの「秋」を見つけることができました。



【11月某日】

集めた秋のものを使って、どんなおもちゃが作れるか考えました。



「どんぐりなどで色々な遊びができることを伝えたい。近隣の保育園や幼稚園の年長さんに遊んでもらおう。」ということで、楽しんでもらえそうなおもちゃを作り始めました。

【11月～12月某日】

どうすれば、年長さんに楽しんでもらえるかを考え、ルール説明や声かけの仕方を練習しました。

授業参観の日には、保護者の方に園児役になっていただき、説明の練習もしました。その後も当日まで、お互いにアドバイスをしたり、おもちゃを改良したりすることができました。



【12月14日、19日】

住吉保育園とひなぎく幼稚園の年長さんを招待し、作ったおもちゃで遊んでもらいました。年長さんに喜んでもらうために、優しくルールを説明したり、遊び方の手本を見せたりすることができました。



## まとめ コラム

季節を感じ、「秋」の良さや楽しさをたくさん感じることができました。「こんな遊び方ができるんだ!」「こうするとおもしろいよ!」と自分の考えや思いを友達に伝えながら活動していました。年長さんとの交流では、初めは緊張気味の子どもたちでしたが、一生懸命、そして優しく接する立派な姿を見ることができました。